

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

➤ 来週の日経平均予想

➤ ピーク to ピークから（参照：5 月～6 月ピーク to ピーク 2023 年版）

5 月 SQ1 週間後の値は 30,808.35 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「5 月 SQ1 週間後の終値は、5 月 SQ 値（29,235.08 円）よりも安くなる」でしたので、今回はデータが外れました。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
3月10日	28,377.34(SQ値)	高くなる	3月17日	27,333.79(終値)	×	0.963
3月17日	27,333.79(終値)	高くなる	3月24日	27,385.25(終値)	○	0.963
3月24日	27,385.25(終値)	高くなる	3月31日	28,041.48(終値)	○	0.963
3月31日	28,041.48(終値)	高くなる	4月7日	27,518.31(終値)	×	0.963
4月7日	27,518.31(終値)	安くなる	4月14日	28,519.43(SQ値)	×	1.036
4月14日	28,519.43(SQ値)	安くなる	4月21日	28,564.37(終値)	×	1.002
4月21日	28,564.37(終値)	高くなる	4月28日	28,856.44(終値)	○	1.010
4月28日	28,856.44(終値)	高くなる	5月2日	29,157.95(終値)	○	1.010
5月2日	29,157.95(終値)	安くなる	5月12日	29,235.08(SQ値)	×	1.003
5月12日	29,235.08(SQ値)	安くなる	5月19日	30,808.35(終値)	×	1.054
5月19日	30,808.35(終値)	高くなる	5月26日	?		

(独自作成)

次に来週の予想です。

5 月 SQ1 週間後の値と 2 週間後を比較すると、下落したパターンは 28 回中 15 回あります(①)。

次に、5 月 SQ 値より 1 週間後の終値の方が高かったパターンは 12 回あります。そのうち次の 1 週間が高かったパターンは 7 回あります。(②)。

もう一つ条件。5 月 SQ 値よりその日の終値の方が高かったパターンは 15 回あります。そのうち 1 週間後の終値より 2 週間後の終値の方が高くなったのは 9 回あります。(③)

①、②、③より「5 月 SQ2 週間後の終値は、5 月 SQ1 週間後の終値（30,808.35 円）よりも高くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

➤ 外国人の売買動向（資料：外国人の売買代金、信用残の推移）

5 月第 2 週の外国人は 5658 億円の買い越しでした。これで 7 週連続、この間の累計も 2 兆 8800 億円を超えてきました。連続買い越しと累計金額で言うと 2013 年 12 月第 5 週までの 10 週で、4 兆 6000 億円以来、実に 10 年ぶりです。なお信託銀行はこの週も売り越しとなり、今年の累計でも 2 兆 4000 億円を超えてきました。

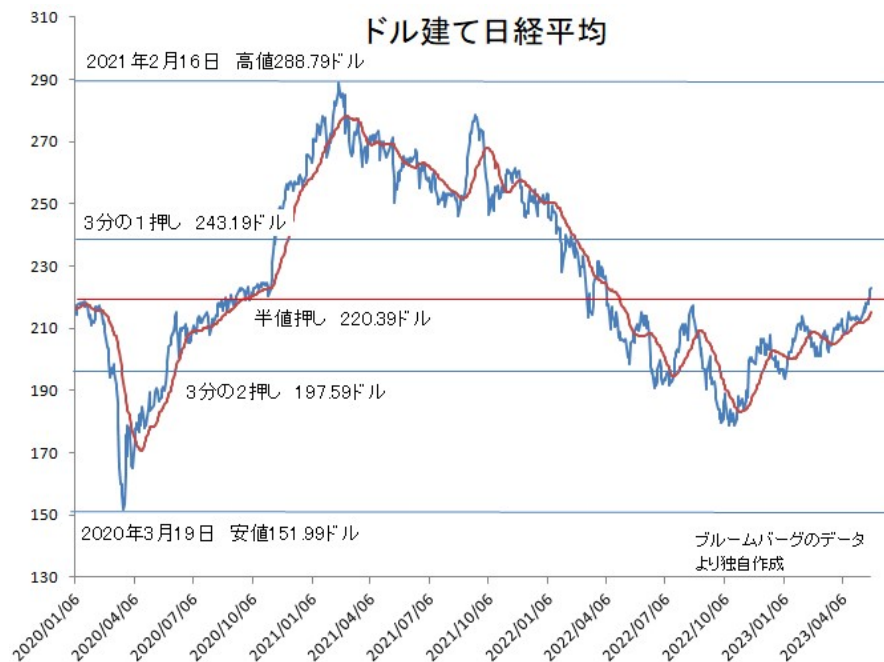
次にドル建て日経平均です。先週に引き続き円安に動き、ついに昨年 8 月の高値を上回りました。これでコロナショック以降の値幅に対し半値戻しの水準である 220 ドルを、昨年の 4 月



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

以来1年1か月ぶりに上回ってきました。ここまでの外国人の買い越しを裏付ける動きです。



一方、ドル円相場も引き続き円安方向の動きが続いています。今週米国で発表された経済指標から、次回のFOMCで追加利上げの可能性が高くなったこともあり、ドル円は一時138円台まで円安ドル高が進みました。なお米債務上限問題でも楽観的な見通しが台頭し、これもドル買いに向かわせたようです。

なお円安はドル建て日経平均を押し下げる要因ですが、それでも（ドル建て日経平均が）上昇したということは、円建て日経平均がいかに強かったかということでしょう。



次に世界のマーケットです。先週日経平均の上昇をよそに世界のマーケット、特に中国上海総合指数が下落トレンド入りするのではないかと警鐘を鳴らしていましたが、今回は杞憂に終わったようです。ただ急反発ということもないので、来週以降も観察していきます。また

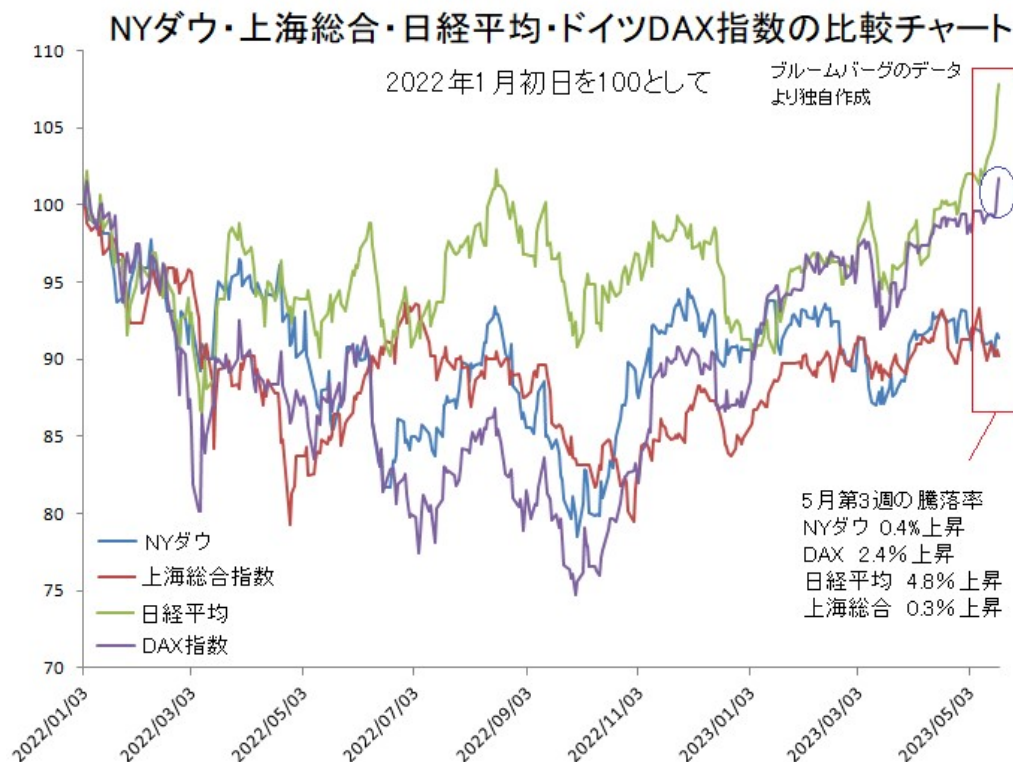


ニューズ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
 〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

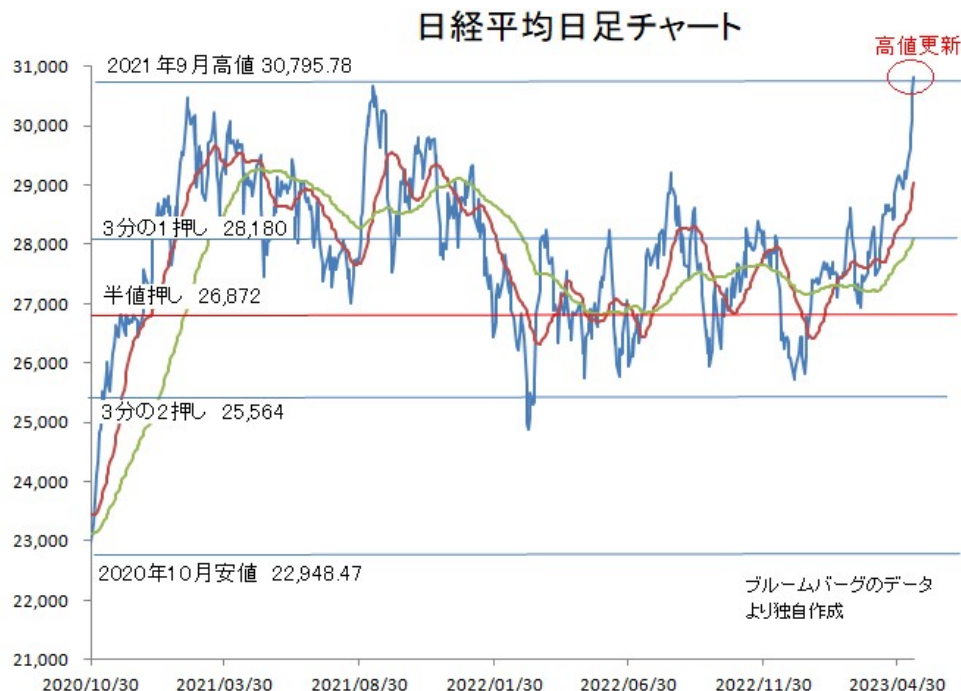
NY ダウも週初は約 2 か月ぶりの安値を付ける場面がありました。しかも週末は 25 日移動平均線で反落していますので、こちらも引き続きウォッチしていきます。

一方ドイツ DAX 指数は絶好調で、約 1 か月間停滞していた水準を上を抜けてきました（青丸）し、その上にはさらに絶好調の日経平均があります。



▶ チャート分析

今週の日経平均は 1420 円高と 6 週連続高となり、2021 年 9 月の高値（30,795.78 円）を 1 年 8 か月ぶりに更新しました。



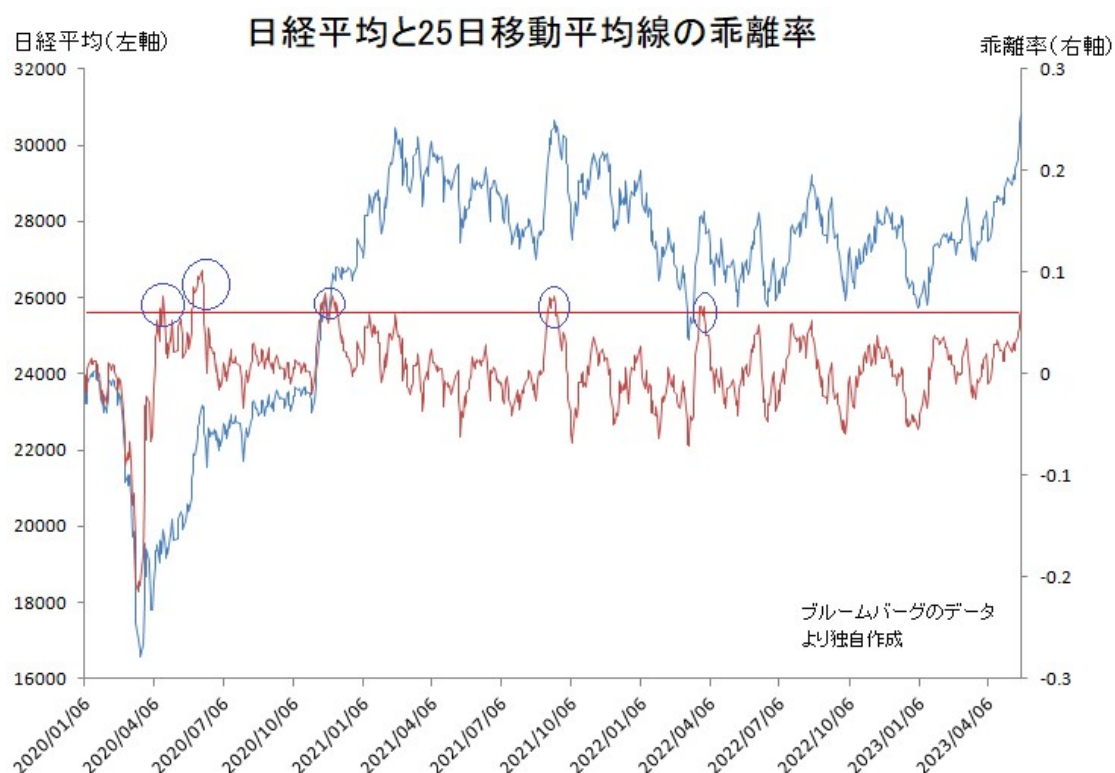
なお週間での上昇幅が 1,000 円を超えたことで過熱感が増し、25 日移動平均線からの乖離



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

率が6%を超えてきました。コロナショック以降今回以上25日線から上方乖離した場面は5回あります。そのうち直近の2回以降はその後下落トレンドに入っていますが、それ以外の3回は一時的には下落しますが、再度上昇しています。よって今回も一時的な調整局面はあってもさらに上昇する可能性が頭に入れておく必要があるでしょう。



現状、世界のマーケットは概ね上昇トレンドに入っています。しかしいつかはその流れも終わりが来ますし、どのマーケットも同時に来るとは限りません。その兆しを捉えるために、毎回同じものを見ています。そしてそこに変化が出てきたら注意します。そして例えば先週の上海総合指数のように、これまでの動きと違ってきた場合は警戒をしていくということです。

- ・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- ・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。

News 20230522-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会